

公表内容

7月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、輸送機械工業、業務用機械工業などが低下したことから、2か月ぶりのマイナスになった。

○概況

生産、出荷、在庫はすべて低下で推移

◆7月の主な数値の動向（調査産業計）

	季節調整済指数			原指数		
	総合指数	前月比(%)		指数	前年同月比(%)	
生産	107.6	▲ 4.1	2か月ぶり－	111.8	▲ 2.0	5か月ぶり－
出荷	114.6	▲ 2.0	2か月ぶり－	118.7	▲ 1.5	2か月ぶり－
在庫	90.9	▲ 5.0	4か月ぶり－	92.3	▲ 12.1	11か月連続－
在庫率	82.4	▲ 0.5		78.7	▲ 13.9	

○生産指数は、季節調整済指数で、2か月ぶりマイナス、原指数で、5か月ぶりのマイナスとなった。

○出荷指数は、季節調整済指数で、2か月ぶりマイナス、原指数で、2か月ぶりのマイナスとなった。

○在庫指数は、季節調整済指数で、4か月ぶりのマイナス、原指数で、11か月連続のマイナスとなった。

○総合指数前月比の伸び率（上昇又は低下）に影響を与えた主な業種

<生産>低下：輸送機械工業（▲ 8.5 %）、業務用機械工業（▲ 29.3 %）

<出荷>低下：輸送機械工業（▲ 3.9 %）、業務用機械工業（▲ 35.2 %）

<在庫>低下：食料品工業（▲ 9.7 %）、輸送機械工業（▲ 19.5 %）

○前月比が最も大きかった業種

<生産>上昇：生産用機械工業（21.3 %）／低下：業務用機械工業（▲ 29.3 %）

<出荷>上昇：情報通信機械工業（19.5 %）／低下：業務用機械工業（▲ 35.2 %）

<在庫>上昇：金属製品工業（17.3 %）／低下：電子部品・デバイス工業（▲ 31.3 %）